

須崎市

議会 だより

明日の須崎を考えよう

第200号

高知県須崎市議会

11月臨時会
12月定例会

令和4年2月1日発行



空手道新風塾の皆さん

目次

各常任委員会構成	2～3P
審議結果一覧表・人事案件	3～4P
一般質問(8人)	5～12P
常任委員会審査内容(抜粋)	13P
陳情請願・編集後記	14P

議会を傍聴しませんか

議会日程など詳しい事は、
議会事務局までお問い合わせください。

TEL 42-8791

次回定例会は、3月開会です。

各常任委員会と議会運営委員会

新しい委員が決まりました。(◎委員長、○副委員長)

議会運営委員会【任期1年、8人】

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例など、議会に関する事項



西村 泰一



豊島 美代子



○吉野 寛招



◎宮田 志野



松田 健



佐々木 學



土居 信一



大崎 稔

総務委員会【任期1年、8人】

総務課、企画政策課、プロジェクト推進室、元気創造課、人権交流センター、地震・防災課、税務課、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項



柿谷 悟



豊島 美代子



○高橋 祐平



◎海地 雅弘



高橋 立一



松田 健



佐々木 學



大崎 宏明

産業建設委員会【任期1年、8人】

農林水産課、建設課、住宅・建築課、水道課、農業委員会の所管に関する事項



海地 雅弘



大崎 稔



○森田 收三



◎吉野 寛招



松田 健



西山 慶



土居 信一



高橋 祐平

教育民生委員会【任期1年、8人】

教育委員会、市民課、環境保全課、福祉事務所、長寿介護課、健康推進課の所管に関する事項



西村 泰一



宮田 志野



○土居 信一



◎西山 慶



佐々木 學



大崎 宏明



柿谷 悟



森田 收三

審議結果一覧表

第470回 須崎市議会11月臨時会(19日)

市長提出議案 3議案、予算(2件)、その他(1件)、慎重審議の結果、原案可決2、承認1となりました。

番号	件名	議決結果	豊島美代子	宮田 志野	西村 泰一	大崎 稔	海地 雅弘	森田 收三	柿谷 悟	高橋 祐平	大崎 宏明	土居 信一	吉野 寛招	佐々木 學	西山 慶	松田 健	高橋 立一
----	----	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------

市長提出議案

第99号	専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第100号	令和3年度須崎市一般会計補正予算(第11号)について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第101号	工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ □:議長、○:賛成、×:反対、欠:欠席、退:退席

第471回 須崎市議会12月定例会(1日~16日)

市長提出議案 18議案、条例(7件)、予算(6件)、専決(1件)、その他(4件)、議員提出議案(意見書など)2議案、陳情4件、慎重審議の結果、原案可決18、承認1、同意1、採択2、不採択1、継続審査1となりました。

市長提出議案

第102号	須崎市の景観等と太陽光発電事業との調和に関する条例の制定について	可決
第103号	須崎市過疎地域指定における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	可決
第104号	須崎市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	可決
第105号	須崎市課設置条例等の一部を改正する条例について	可決
第106号	須崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決
第107号	須崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
第108号	須崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	可決

第109号	令和3年度須崎市一般会計補正予算(第12号)について	可決
第110号	令和3年度須崎市バス事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
第111号	令和3年度須崎市スクールバス特別会計補正予算(第2号)について	可決
第112号	令和3年度須崎市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
第113号	令和3年度須崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
第114号	令和3年度須崎市水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
第115号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	可決
第116号	工事請負契約の締結について	可決
第117号	工事請負契約の変更について	可決
第118号	専決処分の承認について	承認
第119号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意

議員提出議案

第5号	保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出について	可決
第6号	須崎市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決

陳情

第26号	保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	採択
第28号	スケートボード練習場(アクションスポーツ場)の設置を求める陳情書	採択

可決 ■ 承認 ■ 同意 ■ 否決 ■

●12月定例会 ●起立採決したもの

番号	件名	議決結果	豊島美代子	宮田志野	西村泰一	大崎稔	海地雅弘	森田收三	柿谷悟	高橋祐平	大崎宏明	土居信一	吉野寛招	佐々木学	西山慶	松田健	高橋立一
----	----	------	-------	------	------	-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	-----	------

陳情

第25号	市道東山ウスギ線全面通行止め時の迂回路としての整備についての陳情	不採択	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	欠	○	×	○	
------	----------------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

※ □:議長、○:賛成、×:反対、欠:欠席、退:退席

請願と陳情

市民の皆さんから出された請願・陳情は、それぞれ本会議で所管の委員会に付託し、慎重に審査のうえ、最終日に委員会より結果の報告がなされ、決定します。

陳情

不採択	●市道東山ウスギ線全面通行止め時の迂回路としての整備についての陳情
採 択	●保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書
継続審査	●ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
採 択	●スケートボード練習場(アクションスポーツ場)の設置を求める陳情書

人事案件

●人権擁護委員 光森 容子(浦ノ内西分)



宮田 志野 議員

7日 ㊦

所属委員会等
会派：日本共産党
議会運営委員会委員長・教育民生委員会委員・
議会改革調査特別委員会委員

小中学校統合について

小中学校統合計画の説明会が学校や保育園、公民館単位で行われた。そこで出された意見を広報すきに掲載するなどして市民に知らせることはできないか問う。

■答・細木教育長

説明会が全て終わっていないので、最終的に公表をどのように形にするかについては決定していない。広く市民の皆様にお知らせするということは当然のことであるので、その方法も含めて決定していく。

須崎市小中学校統合準備委員会に参加されないというPTA会長、保護者会長、また地域があれば、その準備委員会はどうか問う。

■答・細木教育長

条件整備について、どのような意見があるのか広く聞くという事で構成するもので、できるだけ参加をしていただきたいが、当然のことながら強制できるものではなく、参加しないという判断もあろうかと思っている。

11月に行われた教育講演会で『学校

を満喫したいものだと言う』に参加した。

講師の元中学校教師の濱田郁夫さんは、総務省から出されたまち・ひと・しごと創生総合戦略、それが閣議決定されたので、文科省の手引の中に小さい学校も残して構いませんよというふうに入れている。須崎市は、今、第二期創生総合戦略をやっている。須崎市

は、総務省から出されたまち・ひと・しごと創生総合戦略、それが閣議決定されたので、文科省の手引の中に小さい学校も残して構いませんよというふうに入れている。須崎市は、今、第二期創生総合戦略をやっている。須崎市

まち・ひと・しごと創生総合戦略で、この中に書かれているのは、基本的には人口減をどうやって止めましようかっていうことである。しかし、残念ながら、その中には、学校を残しましょうとは書かれていない。学校を残すためには何が必要か、第一次産業が

■答・細木教育長

教育についての考え方は様々で、100人おれば100通りだと私は理解している。そうした意味で言うところ、議員の意見は一つの見識であると理解するが、学校があればという指摘については、それだけで解決できなかった歴史が現在の状況を導いていると判断するので、それだけで解決のできる問題ではないと認識をしている。

公園の整備

公園のメンテナンスが十分でないと感じている。危険な遊具がそのまま置かれているところもある。秋には草刈りが行われるが、夏の間は草が茂っていた。草刈りをする回数を増やすとか、遊具の点検、定期点検などを行うことが必要ではないか問う。

■答・楠瀬建設課長

危険な遊具については、不良遊具と判

断した場合、交換、修理、もしくは撤去を行っている。また、公園内の草刈り、樹木等の剪定についても、適宜実施しているが、全てに行き届かない点もあるので、管理方法について工夫できる部分を検討していく。

須崎高校跡地の利用

子育て世代は遊び場を求めている。若者の集う場所は須崎市にはほぼない。高齢者が集まって楽しみたいとの声も聞く。須崎高校跡地を文化・スポーツの拠点として活用することを県に提案してはどうか、副市長に問う。

■答・松岡副市長

現在、テニスコートと駐車場部分は県と1年更新で無償貸付けの契約を締結し、須崎総合高校の部活動等の利用の妨げにならない範囲で、市の公共的事業や市民スポーツ活動に利用している。

また、体育館やグラウンド等の施設は、利用の都度、須崎総合高校に相談し、学校の利用に妨げとならない範囲で利用をしている。

県の教育委員会に相談しており、利活用方法や借り受ける場合の費用負担など、条件面の提示も依頼をしている。市としても、有効利用、有効活用ができるよう引き続き検討、協議していく。

大崎 稔 議員

7日 ㊦



所属委員会等
会派：新緑会
南海地震対策調査特別委員会委員長・産業建設委員会委員・
議会運営委員会委員

人口減対策について

人口減に歯止めをかける政策の一つとして住宅建設用地の確保が必要だと考えるが、本市における現在の取り組みはどうなっているのか。

■答・楠瀬市長

今、想定しようとしているところについては、開発事業が分譲価格の試算などを具体的に持って事業化の可能性を判断する手前の段階であり、試算ができて事業化に踏み切れるという判断がついたらお話ししたい。

新しく住宅を建てたいけれど、本市には、なかなか用地がないとの相談も受けており、今までは市外に転出された例もある。

本気で住宅建設用地を確保すべきと考えるが、市長に再度問う。

■答・楠瀬市長

開発費等の兼ね合い等、見通しがつかば、具体的な話ができると思う。

必要性については十分認識しており、ぜひとも実現をさせたいと思っている。

道路管理について

市道・農道等の維持・管理について、本年度より新しい取り組みが始まっていると思うが、その内容について問う。

また、今後はどのようにしていくつもりなのか。

■答・松岡副市長

新たに市内の民間3社の協力を得て、各地区で対応できなかった3路線の除草作業を一つのモデルとして委託し、草刈りや草の運搬処理など一連の作業確認も行ったが、作業単価の差もあり、今後の在り方、対応については、引き続き来年度予算に向けて検討したい。

市民サービスの向上や経費削減、職員の職務軽減の観点からも、道路の巡回や簡易な路面の修繕、土砂の取り除き等、民間に委託するつもりはないか。

■答・楠瀬市長

現状の対応を保ちながら、委託等の必要が生じたら、地元や事業者等と協議をしていきたい。

河川の保全について

今年度、本市で行われる予定の河川の土砂の浚渫工事箇所数と総事業費について問う。

■答・楠瀬建設課長

県管理河川での浚渫事業は、11箇所、総事業費約1億4,000万円と聞いている。また、市管理河川については、5箇所、総事業費約800万円を予定している。

事業費の内、処理費用が多くを占めていることから、市独自の残土処理場の確保が必要と考えるが、検討しているのか。

■答・楠瀬市長

公共残土処理場の必要性については十分理解している。残土置場の選定や処理費用、環境対策など整理していく課題も多くあり、現在、鋭意検討している。

猫対策事業について

本年度、当初予算に計上され、今議会、補正予算にも計上されている猫対策事業について、これまでの経過と次年度

以降についての考え方を問う。

■答・森光環境保全課長

猫の適正な飼育を推進することにより、市民等に動物の愛護及び管理の意識を啓発し、良好な生活環境を保持するために、猫1匹につき5,000円を上限に、不妊・去勢手術費用を補助するもので、想定を上回るペースで申請があり、当初の予算額に達した後にも多くの問合せがあったことから、今回、補正予算を計上している。事業が始まって間もないことや野良猫の増加を抑える効果が大きいと考えられることから、当面は引き続き事業を実施していきたい。

ペットの飼い方におけるマナーについても市民の皆さまにお願いく必要があると思うが、今後の取り組みは。

■答・森光環境保全課長

畜犬登録や狂犬病予防注射の実施、去勢・不妊手術の実施など、飼育する上で絶対必要な処置に関することについて、改めて市の広報への掲載またはホームページによる周知に努めていく。





西村 泰一 議員

7日 ㊦

所属委員会等
会派：新緑会
教育民生委員会委員・議会運営委員会委員・
議会改革調査特別委員会委員

スケートボードパーク 設置について

今議会、スケートボード練習場の設置を求める陳情及び要望書が、304名の署名をもって、市議会、市長宛に提出されている。東京オリンピックの新競技としても開催され、近年は若者を中心に人気が高まり、愛好者も急増中である。

青少年育成、地元住民のコミュニケーションの場としての観点からもスケートボードパーク設置について、早急に検討していただきたいと願うが、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

この要望書をいただき、一番心が動いたのは、全然所属の違う中学生、高校生等と一緒に、行政政治活動を自分たちで起こし、須崎市にスケートパークができるようにしていきたいというような、非常に何か幅の広い活動を、まだ参政権がない中学生、高校生からいただき、非常に心が動いている。

また、県中西部に本格的な練習場がないという事であり、そういう彼らの社会活動としての思いも十分にしっかりとくをさせていただき、前向きに検討したい。

新型コロナウイルス 感染症対策について

希望者への2回目のワクチン接種がほぼ終了し、3回目のブースター接種が医療従事者より随時実施される予定となる中、オミクロン株に世界中が警戒を強めており、専門家の予測でも、年明けより第6波の襲来が懸念されている。

これらに備え、本市では、どのような取り組みがなされているのか聞く。

■答・中山健康推進課長

オミクロン株の確認が大きな脅威となり、今後の感染対策が急がれている。

本市では、市民の皆様引き続き感染対策として、手指の消毒、マスクの着用、三密の回避等をお願いしていくとともに、接種が可能な者で1、2回目の接種を済まされていない者に対し、防災無線等を利用し、接種のお願いをしていく。

あわせて、3回目の接種を市内4つの医療機関を中心に、今月中旬から、医療従事者等より順次実施していく。また、国に対しても、ワクチンの十分な供給について要望していく。

事業者支援給付金事業について、昨年度繰越予算で700万円程度の執行残額があるが、どのように年度内に全額執行するのか聞く。

■答・西森元気創造課長

令和2年度から繰越した事業者支援給付金関係予算については、本年9月から須崎市飲食店応援給付金として3,112万円余りの給付を行った結果、予算残額は747万円程度である。

この残額については、売上げが減少した宿泊事業者向けの応援給付金として活用する事とし、申請の審査並びに給付事務を遅滞なく進めていきたい。

須崎市飲食店応援給付金は評判のいい給付金であったが、この度の補正予算においては、飲食店のみならず、門戸を広げ、観光宿泊業や小売業なども含めた事業者を対象に、減少率の制約を省く等緩和された支援策を講じていただきたいと考え、市長に検討をお願いしたい。

■答・楠瀬市長

今後、市が新たに実施する支援給付事業の制度構築にあたり、この間、数回実施した給付事業を振り返り、良い評価をいただいた実施形式については

継承し、より有効性の高い施策にしていきたい。

昨年9月にプレミアム商品券を2万冊発行し、3ヶ月の有効期限内において、2億4千万円もの消費を促し、停滞する経済への大きな起爆剤となった。

プレミアム商品券は消費喚起、事業者支援、生活支援といった面からも大きな役割があり、今、この時期だからこそ、大きく求められているのではないかと。

プレミアム商品券の発行について市長に提言する。

■答・楠瀬市長

プレミアム付商品券事業については、事業者側、消費者側の双方に経済効果をもたらすもので、事業効果の広がり期待できる支援策であると認識をしていることから、今後、国の補正予算関連財源活用においても、選択肢の一つとして検討していきたい。



佐々木 學 議員
7日 ㊦

所属委員会等
会派：公明党
南海地震対策調査特別委員会副委員長・総務委員会委員・
教育民生委員会委員・議会運営委員会委員

子どもの幸せ実現へ、子育て支援などの充実を図る

国は、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする政策を、抜本的に強化することを最重要課題として全力で取り組んでいる。その国の政策の一環としての、18歳以下の子ども一人につき10万円給付の政策について、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

本市ではこれまで、子育て世帯への支援として、教育・保育の無償化、給食費の補助、並びに保育園の高台移転などの取り組みを進めてきた。

このたび、新型コロナウイルス感染症対策として、18歳以下の子ども一人につき10万円を給付することになった。できるだけ早期に支給する為、児童手当の受給記録で確認できる者には、年内に支給する予定だ。それ以外の公務員や高校生の保護者等には申請案内を送付する。

国の最重要課題としての、子ども政策の考え方や、重点投資などの迅速な取り組みを、どのように受け止め、本市の子ども政策に実効性を持って、どのように反映するか、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

これからの国を支える子どもの少子化対策の一環として、重点配分ができるような観点でこども庁が創設される。

本市においてもこれまで、子育て環境整備等を展開してきた。これを更に充実させていく必要があると考える。

市民サービス向上へマイナカード普及と消費喚起を

このたび成立した国の2021年度補正予算は、オンラインで行政手続き等を可能とするマイナンバーカードの普及と消費喚起へ、1人最大2万円のマイナポイントが段階的に分けて付与される仕組みを具体化。カードを新規で取得した人は、登録したキャッシュレス決済サービスで利用した金額の25%、最大5,000円分のポイントが還元される仕組みだ。既にカードを取得しているものの、現行のマイナポイントを申し込んでいない人も対象だ。

また、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる手続きをした人に、7,500円分のポイントを付与、口座登録を行った人には7,500円分のポイントが付与される仕組みだ。この国の施策を本市において、市民にしっかりと受け取っていただくための実効性ある取り組みについて市長

の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

基本的には、広報などで周知を図る。マイナンバーカードを取得しやすい環境整備としては、市民課窓口で休日、時間外での窓口開設などによる申請、交付体制を強化する。マイナポイントを取得しやすい環境整備としては、市民課窓口でのポイント取得のサポート体制の強化などで対応していきたい。

新型コロナウイルス「感染第6波」への対応を万全に

新たな変異株「オミクロン株」の急拡大が世界的に懸念され、感染第6波への対応が喫緊の課題だ。

今後、ワクチン3回目接種の実施にあたり、市民への通知手順、接種体制、オミクロン株への現時点での対応について健康推進課長に聞く。

■答・中山健康推進課長

3回目の接種は、当面2回目接種を完了した18歳以上の者を対象として、2回目接種から原則8カ月の間隔を空けて接種回数は1回、接種費用は無料を実施する。

通知手順は、2回目接種から8カ月が経過する2週間前を目途に順次案内文書を送付する予定である。

接種体制は、市内の8医療機関で、土・日曜日も含め実施を予定。予約の受付は、基本的にワクチンコールセンター及びインターネットでの予約とする。

オミクロン株への対応については、既存のワクチンが、これまでの変異株に対しても有効性を示していたことから、特に重症化リスクの高い方には、接種時期が来たら早めの接種をお願いしていく。

コロナ禍克服へ、生活困窮者並びに求職者支援

コロナ禍の影響で厳しい経済状況にある人の暮らしを広く支える生活困窮者支援、特に雇用を守る事業者支援について元気創造課長に聞く。

■答・西森元気創造課長

厚生労働省の発表では、コロナ禍により解雇、雇止めされた非正規労働者は5万3,900人余りに上っており、生活に困窮されるケースが多く、生活再建に直結する支援が急務である。

国の支援策は、月額10万円の職業訓練受講給付金を受給しながら専門資格を取得する支援制度が創設されており、ハローワークへの誘導等に努めた

高橋 祐平 議員

7日 ㊦

所属委員会等

会派：新緑会

須崎市監査委員・総務委員会副委員長・産業建設委員会委員・
議会改革調査特別委員会委員

小・中学生の不登校について

全国の児童相談所によると、2020年度に発生した児童虐待の件数が20万5,029件に上ったことが厚生労働省のまとめで分かり、統計開始以来、30年連続で最多を更新し、初めて20万人を超えた前年度から、本年度の増加は1万1,249件、5.8%増と急激に増えている。高知県内においても、2ヶ所の児童相談所が2020年度に認定した児童虐待数が583件と、過去最多だった事も県のまとめで発表された。これは10年前の142件の4倍超えの水準になる。

現在、県内約60校の小・中学校で高知県教育委員会が導入しているICTを活用したアプリ「きもちメーター」が活用されている。

県内では、本年度から小・中学校に1人1台の端末が整備され、授業での活用がスタートしており、子ども達がタブレット端末を起動すると、気持ちを表す絵文字ボタンが現れ、その時の気持ちを選ぶ仕組みになっている。入力結果は、学校の情報基盤に蓄積され、全教員が自分の端末で確認出来るようになっている。

この「きもちメーター」なら、確認画面で子ども達の心の変化を担任以外

にも、全教員で共有する事が出来るため、組織的な支援に繋がると考えている。また、県教育委員会は、将来的には蓄積したデータを活用し、他のアンケート結果や出席状況と掛け合わせた分析を行う事も視野に入れており、不登校や虐待の早期対応に繋がりたいとしている。

是非、この取り組みを須崎市に取り入れていただきたいと考え、教育長に所見を聞く。



■答・細木教育長

「きもちメーター」というソフトは、県の学習支援プラットフォーム、高知家まなびばこと言う欄があり、ここに本年7月に追加された機能であり、児童が登校後に自分の気持ちを教員に知らせるツールとして開発されたものである。

このアプリについては、校長会等でも紹介している。これを活用するためには、少なくとも日常的に全ての児童がタブレットを使っている状況を、朝一番につくる必要があるが、現在、利用の実態がそこまで至っていないので、今後の検討課題であると考えている。

小・中学生の防災ヘルメットの整備状況について

現在、須崎市の防災ヘルメットの整備状況は学校によっても違うかと思うが、避難訓練の実施の際は、高学年はヘルメット、低学年は防災頭巾、または教科書などを頭上に構えて取り組まれている。

各校に対して整備されている防災ヘルメットは、必要に応じて要望されたもののみであり、生徒数、教職員も含め、人数分が足りてない状況である。

また、防災ヘルメットの耐用年数も過ぎていく状況にあるが、各小・中学校の生徒、また教職員の人数分のヘルメットを早急に整備していただけないか、学校教育課長に聞く。

■答・北川学校教育課長

備品等の管理は学校で行っており、耐用年数について学校教育課では把握をしていなかったが、今年度予算要求の中で、耐用年数が過ぎていくとの理由で複数校から買換え要望をいただいたので、不足分、また教職員分も含め、整備していきたい。

不燃ごみの分別収集について

市から毎年、各家庭に配布しているチラシには、布団、古着、段ボールなどを雨の日や雨の降りそうな日に出すことは避けて下さいと書かれている。

しかし、雨が降っていない場合の判断は、個人によって違う場合があり、その時の現場判断が困る場合が出てくると思う。

ステーションに、雨が降りそうな日は布団や古着、段ボール等は出さないで下さい等の看板を設置する等、何か具体策は取れないか、環境保全課長に聞く。

■答・森光環境保全課長

布団や古着、新聞や段ボール等のゴミ出しについては、「須崎市のごみの分け方・出し方」のチラシや広報さき等に掲載をして、市民の皆様には、雨の降りそうな日には出さないように、お願いしているが、当日の気象状況により、判断に迷う事、また、現地でのお願いにも苦勞されている事が伺えるので、広報さき、ホームページ等により一層周知に努めていきたい。

また、提案のあった看板等の設置については、ステーションや地域の状況等を踏まえながら検討していきたい。

森田 收三 議員

8日 ㊦



所属委員会等
会派：日本共産党
産業建設委員会副委員長・教育民生委員会委員・
議会改革調査特別委員会委員

新内閣について

閣議決定していた10万円の給付の条件の見直し、事業者への給付金も昨年の持続化給付金の半分、新型コロナウイルス感染症対策にしても今までの教訓が生かされているとは思えないが、これらについての新内閣の所見を市長に問う。

■答・楠瀬市長

これまでの教訓を生かして新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、内政、外交、成長戦略など全において、国民の幸福度の向上と国益につながる政治の実現に向けて手腕を発揮していただきたい。

野外体験施設整備について

来年5月にオープン予定のキャンプ場整備は、順調に進んでいるのか。

■答・堅田プロジェクト推進室長

現在、土木工事や建築工事、設備工事などの各種建設工事に入っており、年度内の全体工事の完成を目指し、計画に基づき順調に作業が進んでいる。

指定管理料の見直しはどうするのか。

■答・楠瀬市長

現時点では、指定管理契約について詳細な内容が決まっておらず、見直し年度についても未定である。

予測来場者数が少なくないか。また、利益が出た時の配分はどうするのか。

■答・堅田プロジェクト推進室長

基本構想策定時に、㈱ロゴスコピーレーションが、ロゴスランドや他の施設状況等も踏まえながら集客想定人数を算出しており、初年度は4,525人と見込んでいる。

配分については、既に運営を行っている県内の他のキャンプ場が、収入見込額を実績額が上回った額の3割を上限として還元するとしているので、それらも参考にしながら決めたい。

バーベキュー施設の規模、飲食物の提供の規模について聞く。

■答・堅田プロジェクト推進室長

バーベキュー施設は、カヌー場研修棟を利用し、道具のレンタルや食材、飲物の提供もできるよう考えている。

事前のお知らせや予約の方法等について聞く。また、コンテナハウス増設

は検討していないか。

■答・堅田プロジェクト推進室長

SNS等を利用した告知やインターネットを通じた予約など利用者に利便性の高いものにしたい。実施時期については、現在協議中である。

また、現在のところ、コンテナハウス増設は検討していない。

遊具等整備事業について

海洋スポーツパークには、現在でも年間2万人超の利用がある。今後も多くの来場者が予想されるが、安全対策は万全か。

■答・堅田プロジェクト推進室長

遊具公園の新しい駐車場は、約100台を確保、フェンスの設置や出入口を制限し、安全対策を行う。また、遊具についても、国の安全基準に適合したものを整備し、定期的な見回りや保安点検等も行いながら、利用者が安心して遊べるよう整備する。

遊具類の選定状況と選考委員からどのような意見があったのか聞く。

■答・堅田プロジェクト推進室長
選考委員から、利用年齢や遊具の安

全性に係る材質や構造、保護者が見守れる場所の確保、乳幼児も安心して遊べる遊具エリアの確保、耐用年数や保守点検、人気具合などについて意見があり、その意見を踏まえ子どもたちに特に人気のある遊具を中心に、中央部に大型複合遊具を配置し、ふわふわドームやジャングルジム、ブランコなどを配置することとした。さらに、低年齢の子ども専用の遊具エリアも併せて整備する予定である。

来場者の予測をどれくらいと見込んでいるのか。また、キャンプ場との相乗効果についてどのようにみているのか。

■答・堅田プロジェクト推進室長

来場者数は、期待値も込め、年間10万人以上を見込んでいる。

また、キャンプ場は、多くのファミリー層の皆さまに利用いただけたと考えており、遊具公園とキャンプ場との相乗効果により、より多くの皆さまにお越しをいただけるものとおおいに期待をしている。



柿谷 悟 議員

8日(水)



所属委員会等
会派：結の会
総務委員会委員・教育民生委員会委員・
議会改革調査特別委員会委員

住みよいまちづくり

スケートボードの練習場の必要性、交通事故防止の対策について問う。

■答・楠瀬市長

スケートボードの練習場は近隣にもないという状況で、公道、量販店の駐車場などで練習している状況を見ると、整備に向けて鋭意検討を重ねていきたい。

新図書館等複合施設の建設について、利用者への津波避難の配慮はどう考えているのか。

■答・岡本生涯学習課長

津波避難については、須崎保育園裏に整備されている憩いの広場を避難場所に指定することとしている。

図書館を利用する人への避難対策、蔵書を守る対策として設計を考え直したほうが良いのではないか。

■答・岡本生涯学習課長

建設予定地の津波浸水深は、L1で50センチ、L2で5〜10メートルが想定されている。建物を高く大きくすることは、建設コストやランニングコストの増

加につながる。本市の津波避難の基
本は山や高台への避難としており、近
くに避難場所があること、また、周辺住宅
への日照権等の影響も考慮し、一部一階
建て、建物自体を津波避難場所としない
計画で検討している。

小中学校統合計画

小中学校統合計画を決定した庁内会
議録で令和2年3月の会議では結論が
出ず、8月の会議で決定されており、
活発、率直な議論がなされている事を
確認した。また、小学校の統合計画が
3校から5校に変更されたことは大き
く評価される。人口減少の現状では誰
もが理解できるが、中学校の統合計画
も市民の意見、想い、地域の状況など
を踏まえて、3校、または2校に計画
を変更することが妥当ではないか。

須崎市からの同じ説明の繰り返しに
強引さと強権行使を感じるが、市長の
所見を聞く。

■答・楠瀬市長

平成26年度に学校適正配置計画を策定
し、その計画の下に統合計画を策定して
いる。中学校の生徒数を見ると朝ヶ丘中
学校と須崎中学校が存続となるが、須崎
中学校は津波浸水区域にあるということ
で統合すべき学校と位置付けて、結果と

して1校とする計画にした。

現在の中学生の人数、統合される令
和7年度は何人になる想定か。また、
現在の教員数、7年度に1校に統合さ
れたら教員数は何人になるのか。

■答・北川学校教育課長

中学生の人数は、令和3年度409
人、令和7年度は343人と予想して
いる。

教員数は、令和3年度60人ほどだ
が、音楽と美術は1人の教員が2校を
兼務している。令和7年度に1校に統
合した場合、その時の状況によって変
わるので正確な数字は言えないが、統
合となった学校分だけ校長、教頭の配
置はなくなり、各種加配教員も減る。
単純に教員数だけが比較できるもの
ではないと認識する。

1校に統合された場合の令和7年度の
教員数を試算してみると30人ほど、現在
の半数に減ることが想定されるが、1校
に統合すると、少ない教員で多くの子
ども達を指導しなければならなくなる。
果たして、この状態がより良い教育環
境だろうか。市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

教員数という観点での単純比較は、な

かなかできない。学校を統合することで
クラスの数が増えると教員も相対的に増
加する定員制度となっており、現在、専
門教科の教員配置ができていない学校で
も、配置が可能になる。また、複数の教
員が関わることで子どもたちの学習環境
の充実につながる。

子どもたちはグループ討議や、他の生
徒の物の見方や考え方を見聞きして、お
互いに学び合いながら多様な体験をしな
がら成長していけると考えている。

このように生徒への教育や指導に関
し、より充実したものになると考えてい
る。

令和7年度4月1日に施設整備は間
に合うのか。また、グラウンドの用地は
どうなる見通しか問う。

■答・北川学校教育課長

学校の施設整備は、開校に間に合わ
せるべく、現在、必要な事務作業を進
めている。グラウンドは現状の利活用
が可能であると考えているが、部活動
の種類や数によつては手狭になるので
はないかと考えられるので、第二グラ
ウンドが必要になると考えている。

用地の選定については学校から遠方
にならない範囲で選定しなければなら
ないと考えている。



所属委員会等
会派：日本共産党
総務委員会委員・議会運営委員会委員・
南海地震対策調査特別委員会委員

教育行政 2問

9月議会、教育長の答弁を聞き、須崎中学校は適正基準を満たしているの、適地が見つければ移転の可能性があるのかと思った。仮に須崎中学校を移転することになった場合、須崎、上分、新莊、安和小学校からの児童が通学する事になると思うが、適地の条件を聞く。

■答・細木教育長

仮定の質問にはお答えしかねるし、また、即答できるような簡単な課題ではないので、理解してもらいたい。仮に学校一校を新築すると、数十億円の事業費が必要となり、財政的な判断も含め、慎重な判断が求められると認識する。

意外な答えだ。今まで須崎中学校は適正基準を満たしており、移転場所をいろいろ探したが、高台もなかったため朝ヶ丘中学校一校に統合するしかなかったと説明されてきた。最初から中学校は一校にする事で進んできた指摘されても、反論できないではないか。

■答・細木教育長

適地があれば、移転するという選択肢は当然あると思うが、議場で即やりますとお答えできるほど、簡単な問題では

ないと認識している。諸般の事情が、可能性をどの程度持つのかという判断を慎重に見極めていく必要があると思う。

就学援助制度の充実が必要と考える。

現在、学校給食費と修学旅行費は実費の7割額給付だが、県内殆どの市町村は全額給付だ。給付の対象費目もPTA会費や生徒会費を加えた自治体が随分増えて来た。広報の仕方、ホームページから申請できるようにするなど、改善の余地があるのではないか。

■答・細木教育長

給付内容の具体的な改善方向について、ここで答弁は出来ないが、他市町村の実態も把握して、広報の仕方についても併せて検討したい。

介護サービスの充実を

8月からの介護保険制度の改悪で、影響を受けた市民の状況を聞く。

■答・吉本長寿介護課長

施設入所者30人が、1日分の食費650円が1,360円になり、1ヶ月約2万2,000円の増額。ショートステイ利用者で食費1日分390円から600円になった者は89人、650円から1,000円になった者は41人、650円か

ら1,300円になった者は49人。

大変な負担増だ。更に国は自治体独自サービスの廃止方向を求めている。

現在実施している在宅介護者に対する家族介護用品支給事業はとても歓迎されているが、来年度の方針を聞く。

■答・吉本長寿介護課長

要介護3の者には月額5,000円、要介護4または5の者には6,250円を上限に実施している。国からは、事業の廃止、縮小の検討をと言われているが、令和5年度までは継続する考えだ。

要介護2の者へも支給をすべきではないか。また、家庭内介護で頑張っていたり、サービス利用料が高すぎて、やむを得ず老老介護を続けているなどの家庭に対して、在宅介護手当などを支給するつもりは無いのか問う。

■答・楠瀬市長

一定の条件の下で支給している自治体があることは承知しているが、家族介護用品支給事業もあり、新たな制度創設は検討していない。

投票しやすい環境整備を

先の衆議院議員小選挙区選挙では、投

票総数1万907票、このうち期日前投票が3,143票と随分増え、市役所の期日前投票所が混雑した。商業施設でも期日前投票ができるような対応を検討していないのか。また、国政選挙では、選挙区と比例代表に分けて記載台を設置し、目の前に貼られた候補者名や政党名だけを見て投票用紙に書くように、改善が求められるがどうか聞く。

■答・橋本選挙管理委員会委員長

商業施設に期日前投票所を設けると、利便性があり、投票率向上に寄与する点が考えられるが、システムのオンライン化や選挙の従事者確保に苦慮している現状などの課題があり、今後、検討していきたい。記載台設置の改善策については、市内42カ所の投票所の広さは様々であり、設置可能な投票所については検討する。

投票システムのオンライン化は、多額の経費が要すると思うが、企画情報課に機構を改めるなど市のIT化とアンバランスになる。市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

投票率向上に取り組んでいかなければならないのは当然だ。投票システムのオンライン化についてなど、今後の研究課題にしたい。

12月定例会常任委員会 審査内容(抜粋)

総務委員会

須崎市課設置条例等の一部を改正する条例について

令和4年4月1日から新たに設置される文化スポーツ・観光課には、現在の生涯学習課が担当する業務のどの部分が移管されるのか。

■答・総務課

現在の生涯スポーツ係の業務と生涯学習係の図書館、文化財を除く文化業務、市民文化会館等の指定管理業務等が移管されるが、公民館で行われている文化スポーツに関する業務は、生涯学習課が引き続き担当することになる。

令和3年度須崎市バス事業特別会計補正予算について

今年、須崎市公共交通に関する市民アンケートを実施したが、今後、バスの小型化や運行コースの見直しの予定はないのか。

■答・企画政策課

今回のアンケートの結果を今年度内にまとめ、計画を作成し、来年度の検

討・協議を経て、令和5年度から計画を反映して実施していく予定である。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

国の辺地対策事業の50人以上という人口要件に該当しなくなった為、令和4～8年度の総合整備計画から、久通地区が除外されることになったが、市の単独予算を使ってでも、今後もこれまで同様に久通地区に不利益のないような対応をすべきと考えるが。

■答・総務課

今後、財源的には、辺地対策事業債の交付税措置(元利償還金の一部が基準財政需要額に算入される措置80%から10%引き下がるが、過疎対策事業債70%を活用して、これまでと変わらない対応をしていく。

産業建設委員会

市道東山ウスギ線全面通行止め時の迂回路としての整備についての陳情

【陳情の趣旨】

一部未整備、未舗装、未管理の状況にある市道東山ウスギ線を、日常の通行を含め、緊急時の迂回路として利用できるように、整備及び原形復旧していただきたい。

■委員会審議結果

現況を確認したところ、原形復旧、全面舗装となれば莫大な費用がかかることになると思われる。緊急時の迂回路という事であれば、地元住民と協議しながら、別の迂回路での整備方法を模索し、代替案を以って、市へ要望していく事とし、この陳情については、全会一致で不採択とする。

教育民生委員会

令和3年度須崎市一般会計補正予算(分割)について

猫対策事業の現在の申請状況を聞く。また、来年度予算計上の予定はあるのか。

■答・環境保全課

申請件数は、当初の予算額を達成した10月15日時点で33件、62匹分、29万8,400円を執行しており、市民が

らの要望も多いことから、今回、追加予算を計上している。
また、来年度についても引き続き予算計上を予定している。

専決処分の承認について

児童手当の受給記録を基に先行して支給する子どもひとり当たり現金5万円給付金の年内支給日は何日か。また、10万円一括支給の方法に変更する事は考えていないのか。

■答・子ども・子育て支援課

令和3年9月分の児童手当の対象児童及びその兄弟となる高校生等に関しては、申請を不要とし、令和3年12月27日の振込を予定しており、それ以外の高校生のみの世帯や公務員、令和4年3月末までに産まれた新生児の保護者については、申請に基づき、支給する事とし、住民記録で把握できる世帯には通知を送付する予定である。新生児以外の申請期限は令和4年3月11日までを予定している。

また、一括10万円支給に関しては、今後、制度の詳細が国から示されることとなっており、判明次第、給付を受ける方々が使いやすいものとなるよう支給方法等を検討していく。

みなさんも市政について 請願・陳情ができます

どなたでも、市政についての
要望などを、請願書、陳情書
として市議会に提出する
ことができます。

市民の皆さまから出された請願、陳情は、それぞれ所管の委員会に付託し、慎重に審査した後、最終日に委員長より結果の報告がなされた後、本会議で最終決定します。

なお、請願については提出者以外に紹介議員の署名が必要です。

提出の締め切りは、定例会ごとの一般質問前日正午までとしており、それ以降に受理した場合は、次の定例会での処理となります。

今議会、市民の皆様から提出された陳情の一つ『スケートボード練習場（アクションスポーツ場）の設置を求める陳情』は、「須崎市にスケートボードパークつくる会」代表の地元高校生その他303名より提出されました。



議会用語

- 付託 本議会の議決に先立ち委員会の審査に委ねること
- 定例会 3・6・9・12月年4回開催
- 採択 提案の採用を決定すること



*自署の場合、押印は必要ありません。

◆請願（陳情）書◆

請願（陳情）書 年 月

須崎市議会議員 〇〇 〇〇 様

請願（陳情）者 住所 氏名 印

紹介議員 氏名 印

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇について

請願（陳情）の主旨及び理由

請願（陳情）の項目

この陳情は教育民生委員会に付託後、委員会において慎重に審査され、採択された後、本会議で委員長より結果の報告がなされ、全会一致で採択されました。

議会としても今後の推移を見極め、この陳情を市政に反映できるよう努力して参ります。

（左記、請願、陳情の簡易様式）

編集後記

ほころび始めた梅のつぼみに春を感じられる時節となりました。

2020年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスは2年近く経った現在でも、終息を見せず、市民の暮らしや、社会経済に大きな影響を与え続けており、まだまだ落ち着きを見せていない状況でございます。

市民の皆様方におかれましては引き続き、感染症対策をしっかりとして頂きます様お願い申し上げます。

議会におきましては、須崎市における様々な課題について一般質問や、各常任委員会での質疑等多くの議論がされております。

その内容を「議会だより」を通して市民の皆様に分かりやすく、また、次も読もうと思つて頂けます様に日々研究し、改善を積み重ね、話し合い、より良い「議会だより」の作成に努めてまいりたいと思います。

市民の皆様のご意見、ご感想などを、是非ともお寄せ下さい。

今後ともご愛読の程宜しくお願い申し上げます。

（高橋 祐平）

編集委員会



委員長	高橋 祐平
副委員長	吉野 寛招
委員	海地 雅弘
委員	大崎 宏明

会議録がご覧いただけます



本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録（3月上旬発行予定）をご覧ください。

なお、会議録は議会事務局のほか、図書館、各公民館に備えてあります。

●須崎市ホームページにも掲載しています。 <https://www.city.susaki.lg.jp/> ●議会開会日は、よさこいケーブルネットで生中継や録画放送